

ごせん 農業委員会だより

第65号

－発行－
五泉市農業委員会
新潟県五泉市太田1094-1
TEL (43)3911
－発行人－
会長 松尾 タカ子

五泉市農業まつり

開催日 11月3日
(月・祝日)



五 泉 会 場 (ラポルテ五泉 都市の広場)
村 松 会 場 (村 松 支 所 前 駐 車 場)



当日は悪天候にもかかわらず、多くの方が訪れました。

左：村松会場の様子
右：五泉会場の様子



新年のごあいさつ



五泉市農業委員会
会長 松尾 タカ子

謹んで新年のお祝いを申し上げます。日頃より、皆様方には農業委員会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
本市農業委員会は、任期満了による改選により、昨年4月から新たな委員体制となりました。農業委員19名、農地利用最適化推進委員29名の計48名が連携し、農業委員会の最も重要な業務である「農地利用の最適化の推進」に向け、地域に根差した担い手の確保、農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでいます。

五泉市においても昨年3月に「地域計画」が策定されました。10年後の農地利用の将来像となる「地域計画」の実現をめざし、今後とも内容の見直し、修正を続けながら、地域における農業の持続的な発展を図るため、継続した取り組みを行ってまいります。

結びに、本年が天候に恵まれ、実り豊かな1年となりますよう皆様のご多幸を心より祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。

新潟県農業委員会大会

11月5日、県下の農業委員会関係者が一堂に会し、令和7年度の新潟県農業委員会大会が開催され、五泉市からは30名の委員等が参加しました。

大会開会にあたり行われた農業委員会憲章の斉唱では、当市の農業委員である酒井美奈子委員と井上百合子委員が先導を行いました。

本大会で行われた永年勤続農業委員等に対する表彰では、当市から次の方々が受賞しました。

○農業委員・農地利用最適化推進委員

継続3期

権平 孝男 農業委員

浅井 文善 推進委員

波多野 保 推進委員

楯 英樹 推進委員

今井 聡 前 農業委員

渡辺 清滋 前 推進委員

齋藤 昌彦 前 推進委員

皆川 忍 前 推進委員

森山 隆志 前 推進委員

現任委員・推進委員 4名

前任委員・推進委員 5名

本大会に挙げられた農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請決議案等、提出されたすべての議案について、承認されました。

大会後半では、一般社団法人全国農業会議所から「農業委員会をめぐる情勢と今後の取組について」と題して、地域計画の実行について今後どう取り組んでいくのか情勢報告があり、また、農林水産省職員による「米をめぐる状況について」と題した基調講演が行われました。



右：農業委員会大会の様子



左：農業委員会大会憲章斉唱の先導を行う酒井委員(右)と井上委員

令和7年度農業委員会 県内視察研修



農業経営後継者対策委員会 委員長 亀山 公子

12月2日に、農業委員12名、推進委員7名で、十日町市にある新潟県JA魚沼管内のねぎ生産組合と、長岡市にある農業総合研究所を視察してきました。

十日町市にあるJA魚沼のねぎ共選場施設では、担当者から手間のかかる出荷調製作業を機械化した施設で引き受けていること、その分生産者には作付面積の拡大を促すとともに、共選共販の強みを生かして市場から高い評価を受けていること、また新規栽培者に対してJA・農業普及センター・市が一体となりサポートしていること等をお聞きしました。

長岡市にある農業総合研究所の作物研究センターでは、今年五泉市で多発したカメムシ被害について講話していただき、斑点米とクサビ米の違いやカメムシの種類、生態、エサの種類、効果的な防除期間等、多くの情報を得ることができました。

両研修先で参加委員から活発な意見交換がされ、大変有意義な視察研修となりました。

フードバンクに 新米を寄贈しました

五泉市女性農業者の集い実行委員会では、今年度もフードバンクに新米を寄贈する取り組みが行われました。

11月27日に、多くの女性農業者からの支援により集まった新米約42キロが、酒井実行委員長より五泉市社会福祉協議会の横山会長に寄贈されました。

寄贈された新米は、食料支援を必要としている方のために役立てられます。



横山会長に新米を渡す酒井実行委員長

北信越ブロック女性の農業委員等 研修会に参加してきました



農業委員 井上 百合子

10月28日、石川県小松市木場潟公園東園地で開催された北信越ブロック女性の農業委員等研修会に出席しました。五泉市からは農業委員、推進委員4名が参加しました。

視察では、木場潟公園内をスタッフの方から新たな里山の再生と再生可能エネルギーSDGsに繋がる設備や機器について案内していただきました。また講演では、新規就農支援センター長の南出氏より「J-A小松市の新規就農に向けた取り組み」についてお話を伺いました。

意見交換会では「伝えたい農業委員、農地利用最適化推進委員の魅力」をテーマにグループで話し合い、発表しました。また、農地法ほか法令や制度について理解を深めたり、地域の人との繋がりが頼りにされること等、色々な話題で盛り上がりつつあることができ、他の地域の農業委員と満足のいく情報交換ができました。

最後に、女性委員としての視点を活かした意見の発信や活動の活性化、地域農業の振興に対して、より一層努力してまいります。このような研修会に参加して、とても有意義でした。

全国農業 新聞

購読料の改定のお知らせ

全国農業新聞の購読料が令和8年4月から、次のとおり改定となります。

現在

紙面版 月額 7,000円
電子版 月額 5,000円

令和8年
4月分から

紙面版 月額 9,000円
電子版 月額 7,000円



再生可能エネルギーを利用した農業ハウスでは、トマト・ベビーリーフ・フリージアが栽培されています。

五泉で
がんばる

農地所有適格法人の紹介



五泉市の農地所有適格法人一覧

法人名	所在地	法人名	所在地
農事組合法人久保農業生産組合	丸 田	農事組合法人グリーンサポート	本田屋
有限会社ファームみなみの郷	木 越	株式会社アグリ童夢	二ツ柳
有限会社川内ライスプラント	下阿弥陀瀬	株式会社オアシス	木 越
株式会社農事法人銀米生産組合	論 瀬	合同会社五大農産	笹 堀
農事組合法人アグリ中川	中川新	株式会社 HAYZ (ハイズ) ★	上木越
農事組合法人ジー・アール・エム十全	別 所	株式会社なごみ農園	赤 海
株式会社ひふみ会	美 郷	エフアグリ株式会社	不動堂
株式会社蛇場農産	笹野町	株式会社夢工房アグリドリーム 21	下阿弥陀瀬
株式会社 Y.S.Vision (ワイ・エス・ビジョン)	一本杉		

五泉市には農地所有適格法人が17団体あり、それぞれ特色を生かした経営を進めています。その中で、農業委員会に在任中に会社を立ち上げ法人化した樋口雄介さんにお話を聞きました。

会社概要

会 社 名：株式会社HAYZ (ハイズ)
所 在 地：五泉市上木越3152
設 立 年：2023年11月
会社の規模：社員1名
耕 作 地 区：村松地区、木越地区
生産している農作物等：
水稲約17ha、サトイモ90a、ネギ20a

数年前から考えていましたが、ちょうど実家の近くに良い倉庫を譲ってくださる方がいて、それがきっかけで本格的に設立に向けて動き始めました。

Q1 法人化した理由を教えてください



株式会社 HAYZ
代表 樋口 雄介
(農地利用最適化推進委員)

Q2

積極的に取り組んでいることや今後の目標を教えてください

個人の頃とは違い、「会社」として長く続けていかなければなりません。そのために風通しの良い職場作りを心かけ、社員を大切にしています。また、作業効率を上げるために、畔抜きやほかの農地所有適格法人と協力して農地の集約化にも取り組んでいきたいです。

経営者としては、ほぼ1年生のため知らないことだらけですが、楽しいです。これからもがんばります！

編集後記

本格的な寒さはまだまだ続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。「作物は足音を聞いて育つ」と言われますが、春の準備はこの時期の「土作り」から始まります。冬場の農作業は体が冷えやすく、関節への負担も大きくなります。作業前のストレッチや防寒対策を万全に望みたいものです。

編集委員 清田 ひろみ